

○調査結果の概要

1.貿易企業の概要

・貿易実績のある企業 193 社

2016 年(暦年)における輸出企業は 156 社(前年 144 社)、輸入企業は 93 社(同 107 社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は 56 社(同 64 社)で貿易企業は 193 社(同 187 社)となった。

所在地別では、松江市が 62 社と最も多く、続いて出雲市 47 社、浜田市 16 社の順となった。

2.貿易実績

・島根県の 2016 年貿易額は 3,045 億円

県内企業の 2016 年(暦年)の貿易額(輸出入額)は 3,045 億円(前年 3,740 億円)であり、前年比 18.6%の減少となった。

輸出額 2,415 億円(前年 2,295 億円)に対し、輸入額は 630 億円(前年 1,445 億円)となっており、1,785 億円の輸出超過(前年は 849 億円の輸出超過)となった。

(1) 輸出の実績

・輸出額は 2,415 億円、市場別ではヨーロッパに 20.5%、アジアに 18.7%

2016 年(暦年)の県内企業の輸出額は 2,415 億円(前年 2,295 億円)であり、対前年比 4.9%の増加となった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 1,698 億円(構成比 70.3%)と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が 402 億円(同 16.6%)となっており、両品目で輸出全体の 86.9%を占めた。地域別では、ヨーロッパが 495 億円(同 20.5%)、アジアが 451 億円(同 18.7%)、北アメリカが 252 億円(同 10.4%)となっており、この三地域で全体の 49.6%を占めている。国別輸出額でみると、1 位ドイツ(同 15.8%)、2 位アメリカ(同 8.9%)、3 位韓国(同 4.6%)、4 位中国(同 4.0%)、5 位台湾(同 2.4%)となっている。

輸出形態では、間接輸出が 1,975 億円(構成比 81.9%)、直接輸出が 440 億円(同 18.1%)となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは関西地域で全体の 32.5%、次いで関東地域が 15.2%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、境港 0.7%、浜田港 0.2%となっている。

(2) 輸入の実績

・輸入額は630億円、輸入全体の33.4%が鉱物性生産品

2016年(暦年)の県内企業の輸入額は630億円(前年1,445億円)であり、対前年比で56.4%の減少となった。(減少の主な理由は、一部企業の貿易実績算出方法の見直しによるものである。)

輸入を品目別にみると、「鉱物性生産品」が210億円(構成比33.4%)と最も多く、次いで「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が115億円(同18.3%)、「卑金属及び同製品」が79億円(同12.5%)となっている。地域別では、アジアが352億円(構成比55.5%)と最も多く、オセアニアが144億円(同22.7%)と続いており、両地域で全体の78.2%を占めている。国別輸入額でみると1位中国(構成比33.8%)、2位オーストラリア(同22.4%)、3位インドネシア(同11.5%)、4位アメリカ合衆国(同4.3%)、5位韓国(同3.9%)となっている。

輸入形態は、直接輸入が331億円(同52.5%)、間接輸入が299億円(同47.5%)となっており、直接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは関西地域で全体の42.8%を占めた。なお、山陰地方の港の荷揚げは、三隅港29.8%、浜田港6.3%、境港4.0%となっている。

3. 海外直接投資及び外国企業との提携

・投資先、提携先ともに中国が最多

海外への投資案件は全体で21社30件となっており、投資先を国別にみると、中国10件、タイ7件、インドネシアが4件、アメリカ合衆国が2件となっており、構成比でみると中国が33.3%、アジア全体で83.3%を占めている。

形態別では、独資12件、合併9件、駐在員事務所3件、その他が1件となっている。

県内企業の外国企業との提携は全体で22社48件あり、提携先を国別にみると、中国が12件(構成比25.0%)と最も多く、次いで台湾が5件、ベトナムが4件、タイが3件となっている。地域別にみると、アジアが39件で81.3%を占め、北アメリカが5件で10.4%、ヨーロッパが3件で6.3%となっている。

形態別では、販売代理店契約31件、技術供与と委託加工貿易が各6件、技術導入2件となっている。